



「TANGO CROSSING」及び「高校生起業家が語る！“学校授業”から 起業へのプロセス」を開催します

令和8年3月13日
京丹後市

京丹後市は、全国の中学生、高校生で構成し SDGs の普及や未成年の社会参画の促進に向けた事業を展開する一般社団法人 Sustainable Game との間で、令和4年3月に SDGs の達成に向けた若者活躍のまちづくりに関する包括連携協定を締結しました。

当該包括連携協定の取組の一環で、この度、一般社団法人 Sustainable Game が中学生・高校生向けのプログラムとして「TANGO CROSSING」及び「高校生起業家が語る！“学校授業”から起業へのプロセス」を下記の通り開催しますのでお知らせします。

記

① 「TANGO CROSSING」の概要

1. 日 時 令和8年3月19日（木） 15時00分～17時00分
2. 場 所 京丹後市未来チャレンジ交流センター（roots）
3. 内 容 一般社団法人 Sustainable Game から留学経験者を招き、「留学」をテーマに、留学での経験から社会や地域、自分の進路や将来について、話し合う対話型ワークショップを行います。
4. 対 象 中学生以上

② 「高校生起業家が語る！“学校授業”から起業へのプロセス」

1. 日 時 令和8年3月20日（金） 13時30分～15時00分
2. 場 所 京丹後市役所峰山庁舎2号館
3. 内 容 一般社団法人 Sustainable Game から高校生起業家を招き、学校の授業から起業へつながった経験を話すトークセッションを行います。
4. 対 象 中学生以上

※一般社団法人 Sustainable Game の詳細は別紙参考資料をご覧ください。

【問い合わせ先】
京丹後市市長公室政策企画課
電話：0772-69-0120

世界を見る！地域を考える！未来を描く！



京丹後市

TANGO



Sustainable Game

CROSSING

in 京丹後峰山

未来の話をしよう！

「CROSSING」とは、
同世代の高校生が集まり、
正解を出さずに話してみる対話型ワークショップ
テーマは「**留学**」。

世界での経験をヒントに、社会のこと、地域のこと、
そして自分の進路や将来について、みんなで“ゆるく”
話してみませんか？

日時 | 3月19日(木) 15:00-17:00

(途中参加・退出OK/オンライン参加も可能!!)

主催：京丹後市

(運営/企画Sustainable Game)

場所 | 京丹後市未来チャレンジ

交流センター

対象 | 中学生以上

参加費 | 無料



申し込みフォーム

東京の高校生も現地参加！

同世代同士で楽しく
交流しましょう！



アメリカ留学
小原舞



アイスランド留学
高橋賢人

- ・意見がまとまっていなくてもOK
- ・聞くだけの参加もOK
- ・留学に興味がなくとも参加可能○

2026

3/20

FRIDAY



京丹後市

×



Sustainable Game



高校生起業家が語る！

イベント
申し込みは [こちら](#)
(オンライン参加可)

“学校授業”から

起業へのプロセス

ファシリテーター



Sustainable Game

代表理事

高橋 賢人

日時:3月20日(金) 13:30~15:00

場所:京丹後市役所峰山庁舎

主催:京丹後市

企画・運営:一般社団法人Sustainable Game

参加費:無料

登壇者

TORYUMON

運営代表

鈴木 大輝

高校3年生。未成年と企業の共創を生み出すプラットフォームを提供する『一般社団法人Sustainable Game』の代表理事を務める。中学生の頃から「社会に対して何かいいことがしたい」という純粋な気持ちから同法人へ参画し、現在も活動中。

早稲田大学商学部1年。2025年7月よりU25世代向けスタートアップイベントである「TORYUMON」の運営代表を務める。SHIBUYA QWSでの活動や高校での起業部の立ち上げ、ビジネスコンテストへの出場を通じて、ゼロからイチを創り出す。

1. 団体概要

会社名	一般社団法人Sustainable Game
設立	2020年6月1日
代表理事	高橋 賢人
所在地	東京都豊島区
事業内容	<p>全国の中高生をメンバーとして、SDGsの普及や未成年の社会参画の促進を目的とした事業を展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催 ・オンラインコミュニティの運営 ・メディアサイトの運営 ・ソーシャルアクション（社会貢献活動）の支援 等

2. 京丹後市との関わり

令和3年11月に開催した「ICT×地方創生甲子園」において、前代表の山口由人氏が未成年と企業との共創により社会課題の解決を促進する事業アイデアを提案し、グランプリを受賞した。

その後、令和4年3月31日に、京丹後市との包括連携協定を締結。

社会問題に関心のある将来世代を本市へ呼び込む企画など、「若者活躍の聖地」を目指した取組を推進し、関係人口の創出・拡大につなげている。

3. 事業内容の詳細

(1) 課題発見DAY（教育プログラムの提供）

フィールドワークを通じて社会課題を発見し、その解決策を考える中高生を対象とした教育プログラム。企業の社員や大学生、起業家とともに、多世代でプランを練り上げアイデアを発表する。京丹後市でも学校授業内などで開催。



(2) 共創プログラム

持続可能な観点から事業課題を再認識し、改善策や事業をより持続可能にするためのアイデアとプランを中高生と企業の社員が共創する研修プログラム。これまで約30社が参加。



(3) SDGs Network U-18（オンラインコミュニティの運営）

18歳以下を対象に、プロジェクトの仲間集めやイベント、企業のESGへの取組の共有を目的に運用しているオンラインコミュニティ（フェイスブックグループ）。SDGsや社会課題に関心のある全国の中高生約500人が登録。



(4) SPINZ（教育コンテンツの配信）

公募を通過したZ世代と同世代の芸能人が社会課題の解決に挑む様子を追うリアリティ番組をYoutubeにて配信。95万人が利用する教育プラットフォーム内にて、教育コンテンツとしても配信を行っている。



未成年のプロジェクト事例



長崎県の高中生から生まれたプロジェクト。規格外のみかんの皮からとれる精油を使いキャンドルを、実からは堆肥を開発。



アレルギー問題の解決に向けて起業を目指す高校1年生のアイデア。卵アレルギー患者の治療を容易にできるようにサポートする「たまご練習ボーロ」。



パナソニック株式会社を発起人として、Sustainable Gameがパートナーとして参画して製作した「さわって学べるSDGsキット」。